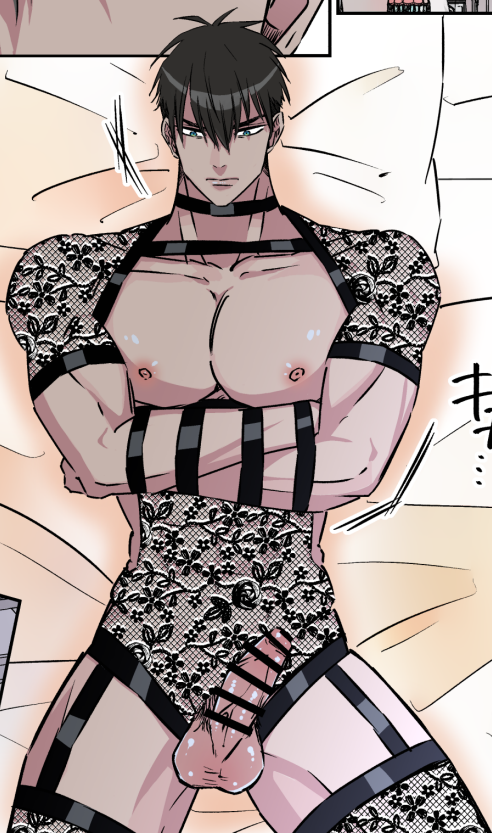


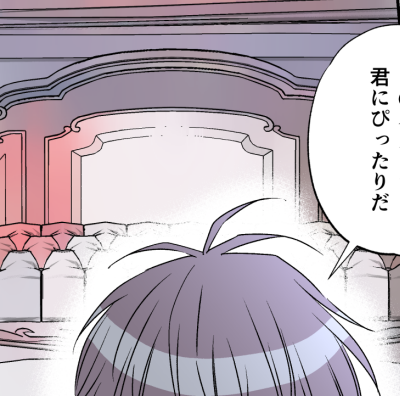
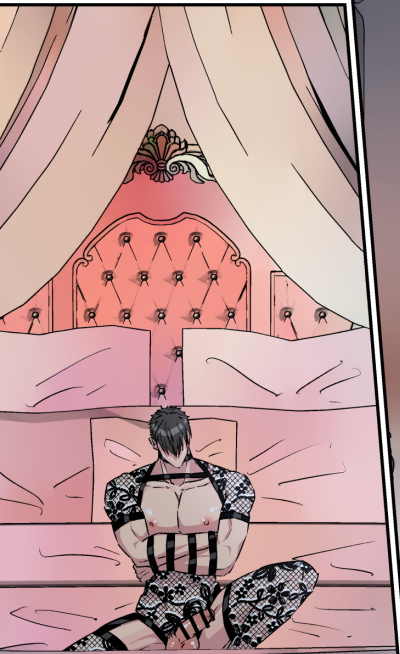
ん……

オ
オ
オ
……

強氣な軍人を
龜頭責めで性拷問する
第4話


ガキヤ……





目覚めたか
美しい眠り姫


そのネグリジェ
君にびったりだ



これは何だ？

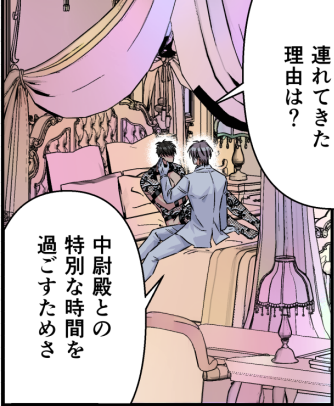


ギシ...




ここは
誰も入れない
私の部屋

誰かをここに
招待したのは
初めてだ



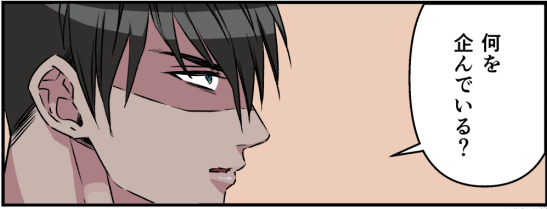
俺をここに
連れてきた
理由は？

中尉殿との
特別な時間を
過ごすためさ




君の弟は
まだ
解放してない

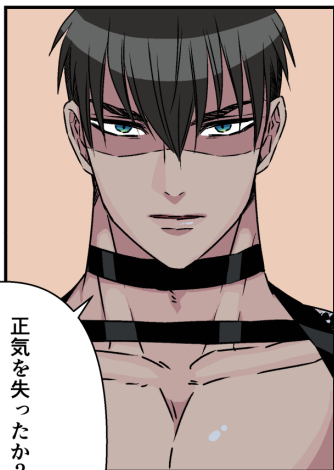
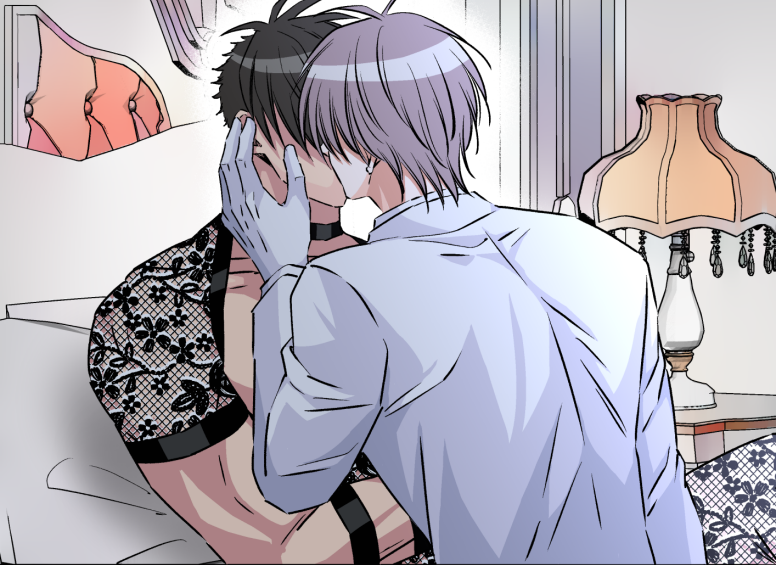
だからギルは
ここからは
逃げられない



何を
企んでいる？



中尉殿との関係を
新たな次元へと
進めたい



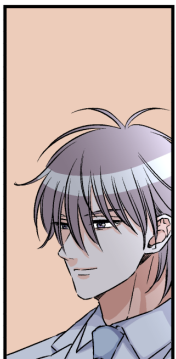
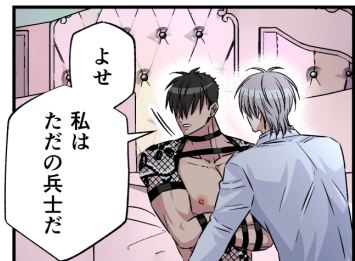
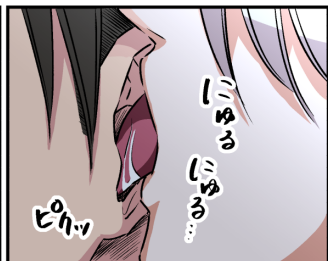
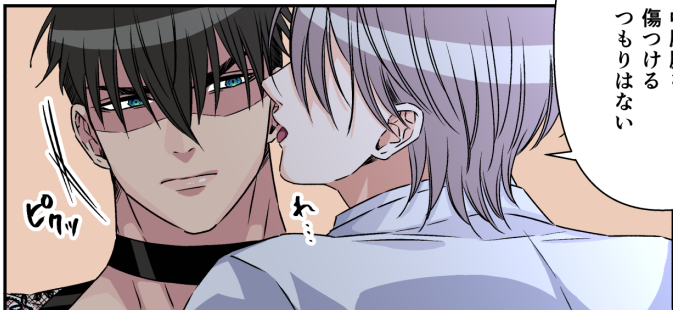
正気を失ったか？



君の強さ
美しさ

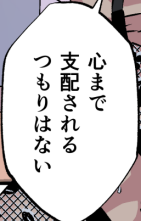
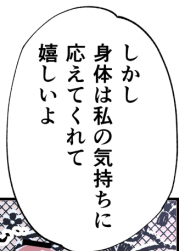
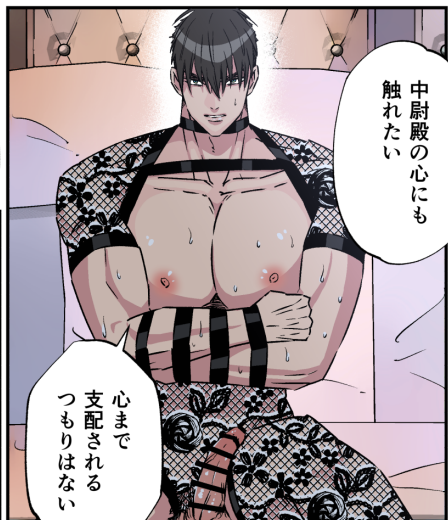
すべてが
私を魅了する

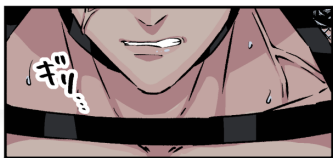
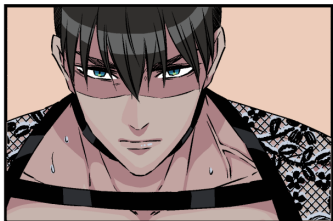
中尉殿を
傷つける
つもりはない



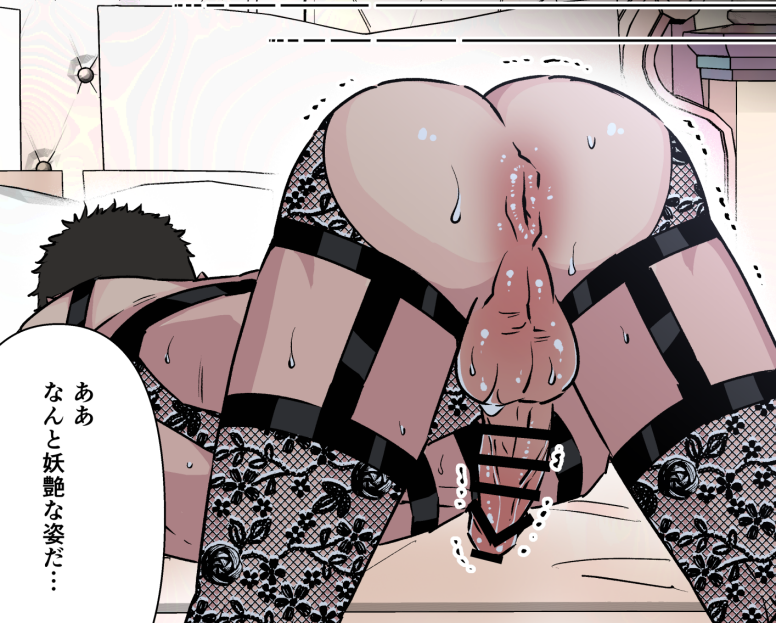


弟くんを
拘束している限り
君は私に
逆らえないだろう

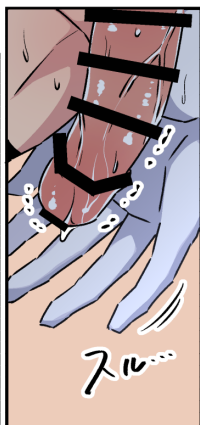
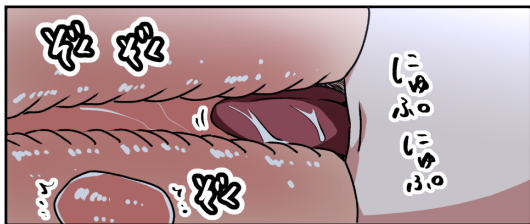
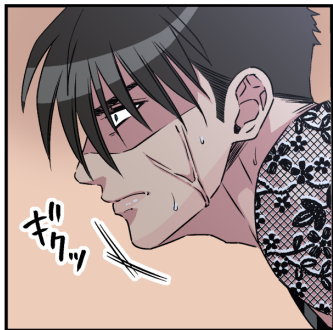


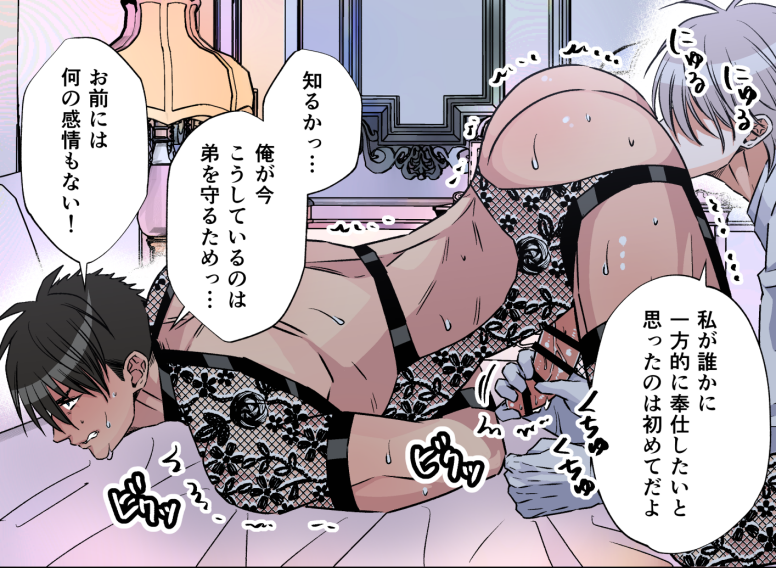


四つん這いに
なれ



ああ
なんと妖艶な姿だ…



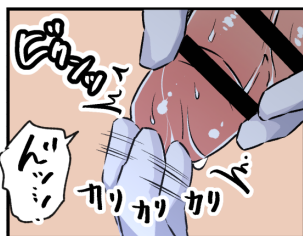


お前には
何の感情もない!

知るかつ…

俺が今
こうしているのは
弟を守るためっ…

私が誰かに
一方的に奉仕したいと
思ったのは初めてだよ



言っ
て
く
れ
る
ね
…



それが中尉殿の
唯一の望みなら

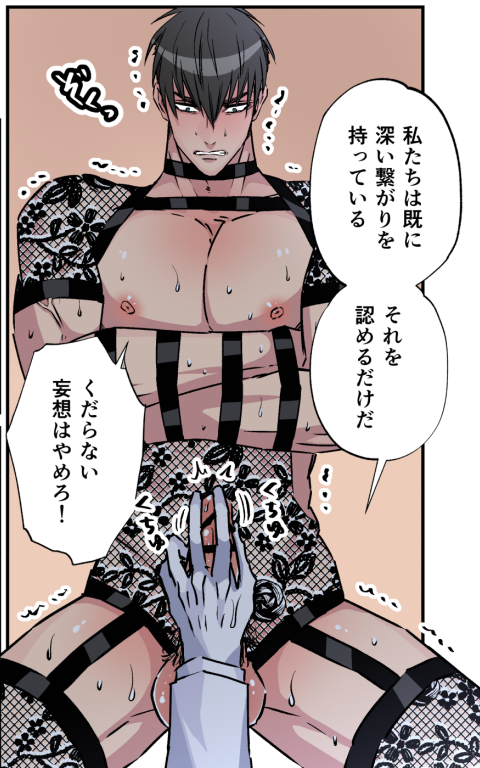
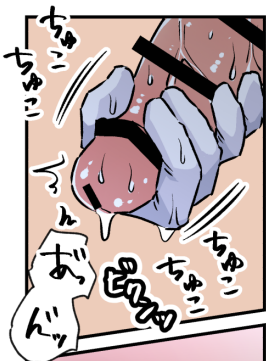
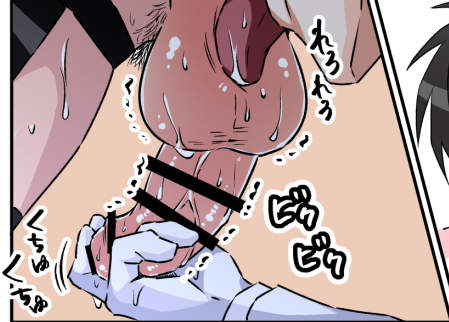
弟を
解放してあげよう

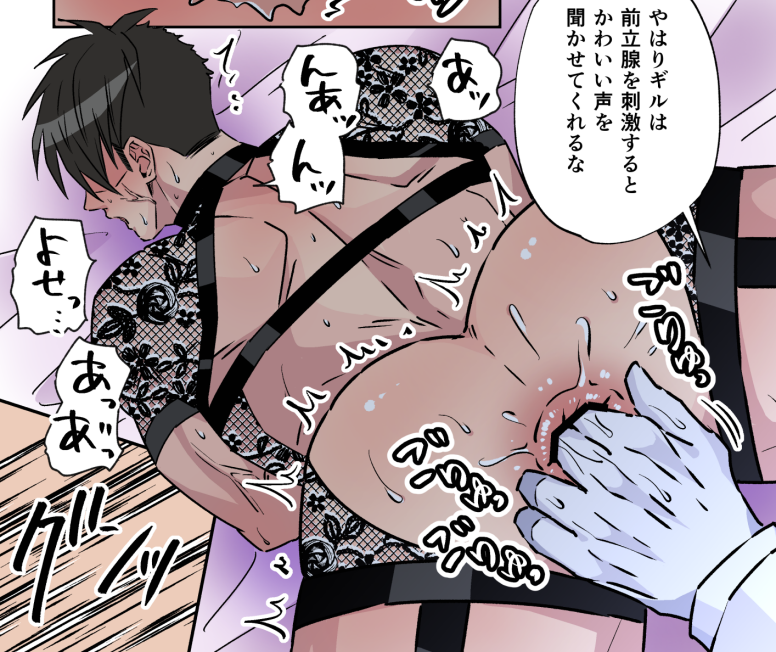
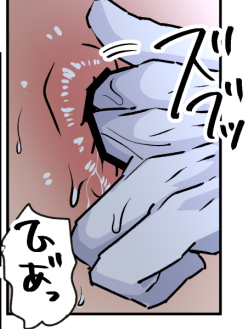
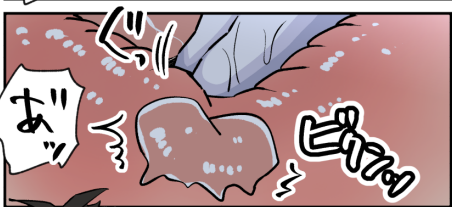
!

ただし

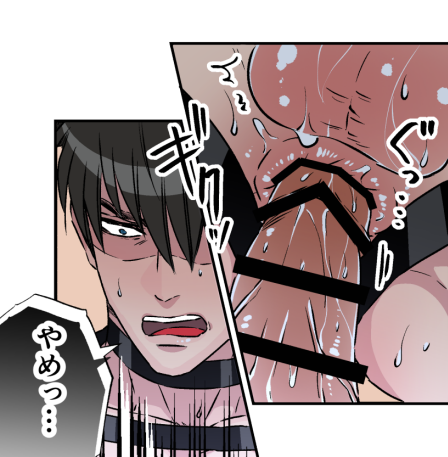
ギル中尉は
私の伴侶となる

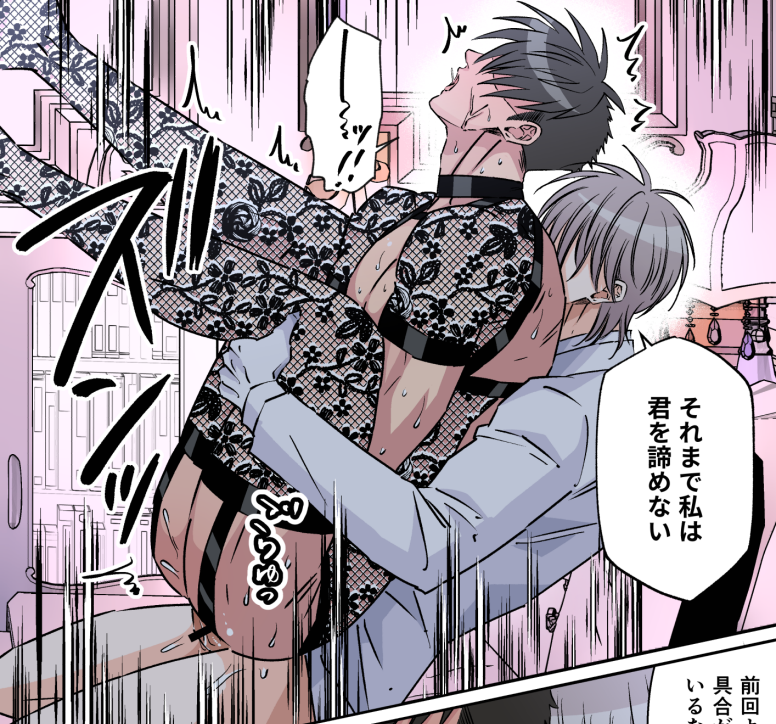
!?





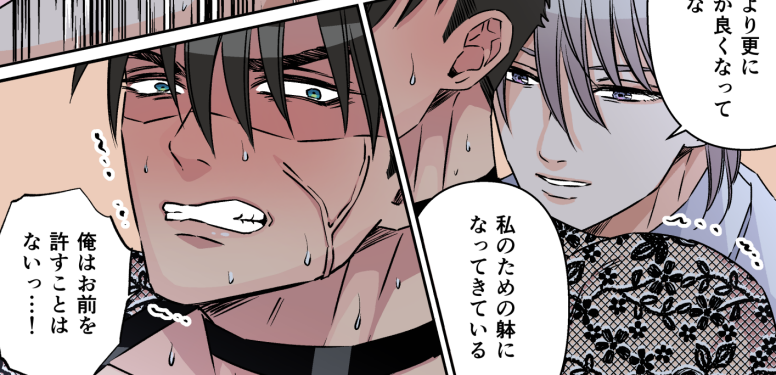
やはりギルは
前立腺を刺激すると
かわいい声を
聞かせてくれるな





それまで私は
君を諦めない

前回より更に
具合が良くなって
いるな



俺はお前を
許すことは
ないっ…!!

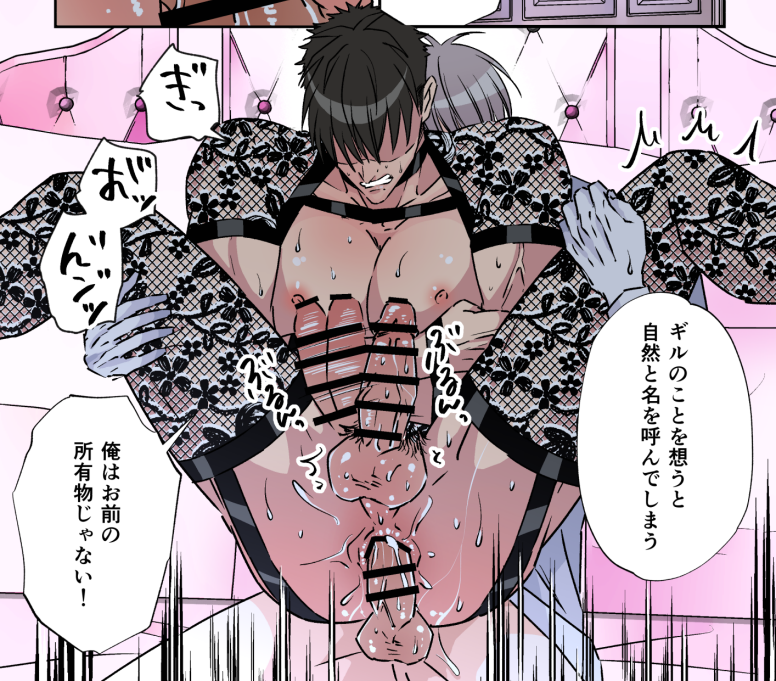
私のための絆に
なってきた

私はギルを
理解したいだけだ

さっきからっ…
俺の名を
気やすく呼ぶな！

ギルのことを想うと
自然と名を呼んでしまう

俺はお前の
所有物じゃない！



前立腺も刺激されて
乳首もぷっくり
膨れ上がって…

その上
美しいネグリジェまで
身に纏っている…

最高の伴侶だ

約束通り
弟は
解放してやろう

だがギル
君の居場所はこちらだ

私と共に
永遠の絆を結ぶために――

END